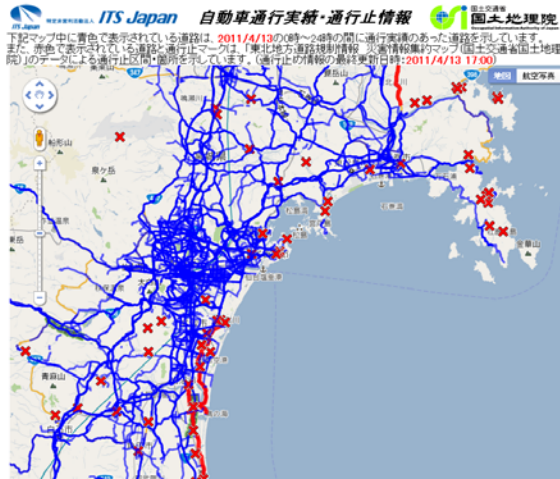


図 4-28 災害時における通行可能情報の提供 [ウ.の参考例]

車のプローブデータを保有する企業の協力を得て、大規模災害発生時に通行実績情報を迅速に集約し、公開する仕組みも構築されており、こうした仕組みを活用し、災害時に通行可能な経路等の情報をドライバーに伝達することで、バスをはじめとする車両走行の安全性を確保する取組を検討する。

<プローブデータを活用した通行可能ルートの情報提供>



出典：「I T S J a p a n」ホームページ

<リアルタイムな交通情報収集・提供のイメージ>



出典：「出典：緊急提言「ICTを活用した耐災（防災・減災）施策」（土木学会・電気学会 ICT を活用した耐災施策に関する総合調査団）」

(2) 新たな技術等を活用した交通安全の確保

⑫ 公共交通輸送における交通安全の確保

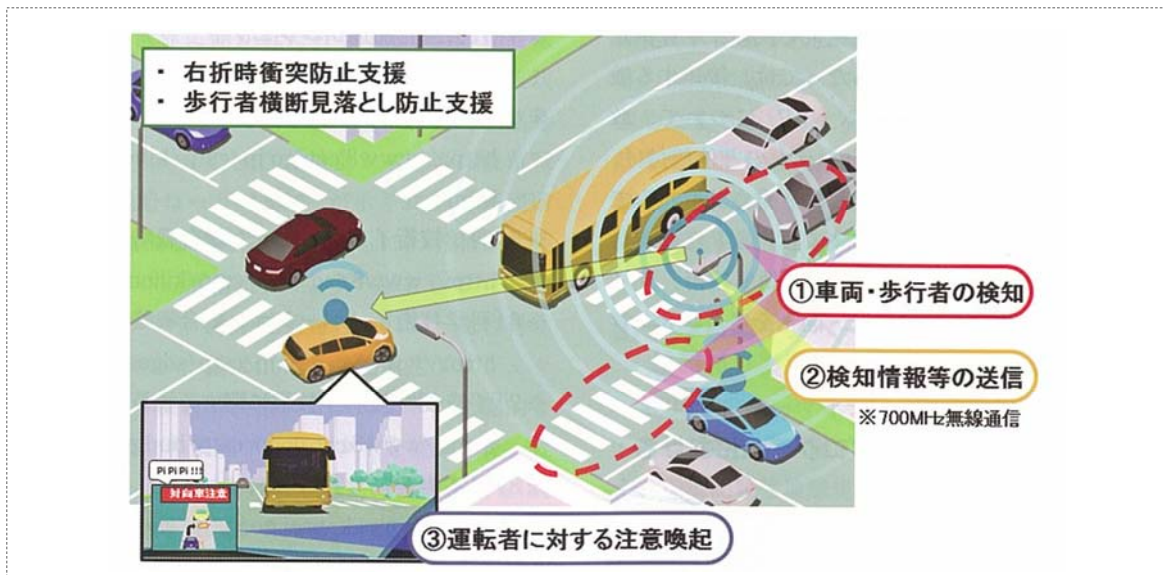
先進の自動車安全技術や、道路と車両間の通信等によるITS技術などについて、開発動向を踏まえつつ活用を図るとともに、これらの技術に関する普及・啓発を進め、事故を未然に防ぐなど公共交通における安全の確保に向けた取組を進める。

ア. 自動車安全技術やITS技術など関連技術の研究・開発の推進

イ. 衝突防止システム、歩行者検知システム等の活用検討・導入

ウ. 体験型イベントの開催などITS技術等の普及啓発の推進

図 4-29 ITS の活用(電波を活用した安全運転支援システム[DSSS])[ア.の参考例]



出典：ITS Japan「ITS年次レポート2016年版 日本のITS」

図 4-30 自動車安全技術体験試乗会
(交通博 IN 岡崎)[ウ.の参考例]



出典：愛知県ホームページ

図 4-31 ITS 啓発パンフレット
[ウ.の参考例]



出典：愛知県ITS推進協議会ホームページ

(3) 地域特性に応じた生活交通の確保・維持

⑬ 地域住民の生活を支える公共交通ネットワークの形成

地域公共交通は、その維持確保が厳しい状況にある一方、日常生活の移動手段としての役割にとどまらず、医療・福祉、教育、産業振興、観光振興等様々な面でも役割が期待されていることから、地域の課題や実情に即して、利用者目線を重視しつつ、様々な制度や地域資源、技術を組み合わせ、効果的かつ効率的で持続可能な公共交通サービスの提供に向けた取組を進める。

ア. 地域公共交通網形成計画*等の公共交通に関する計画の策定

イ. 地域住民の生活行動や移動需要を把握するための実態調査の実施

ウ. 地域公共交通の役割や地域の実情に応じた輸送手段の選択検討

(デマンド型交通・自家用有償運送*・タクシー等の活用、スクールバス混乗*、貨客混載*など)

エ. 地域公共交通の課題解決に向けたICT(情報通信技術)等の先進技術の活用

オ. 通学、通勤の時間帯限定での直行便など利用者ニーズに応じて工夫したバス運行の検討・実施

図 4-32 地域の実情に応じた輸送手段の構築①-「おでかけ北設」[ウ.の参考例]

北設楽郡の3町村では、郡内に住む全ての人々が豊かな生活を行うことができるよう、生活に必要な移動の機会を確保するため、鉄道・バス・スクールバス・タクシー・移送サービスを適切に組み合わせた一体的システム北設楽郡総合交通システム「おでかけ北設」を構築。



基幹バス	町村をまたぐ移動や、通院・通学を考慮した路線
支線バス	基幹バス路線以外の現町村バスの各路線
予約バス	電話申込などによる予約制乗合バス
タクシー・スクールバス・各種移送サービス	児童・生徒向けの移動手段、予約制による個別移送サービス

出典：「よりよい地域公共交通ネットワークを形成するための提言書」(H22.3) 国土交通省中部運輸局

図 4-33 地域の実情に応じた輸送手段の構築②-「あすけあいプロジェクト」[ウ.エ.の参考例]

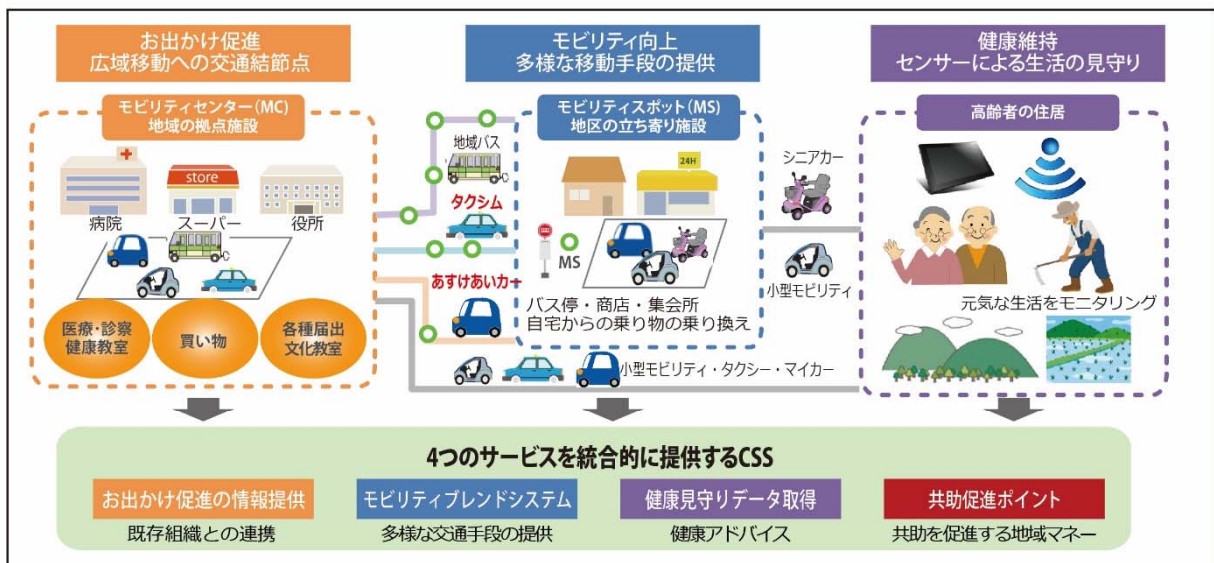
中山間地域では、公共交通や商店、病院などが近くになく、移動手段を持たない高齢者が住み続けるのは難しい現状がある。このため、名古屋大学では、東京大学、豊田市、足助病院と共働で、豊田市足助地区等において、住み慣れた場所でその人らしく暮らし続けることができるよう、先進の技術も活用し、安全安心で自由な移動と、地域で安心して暮らすためのコミュニティの構築をめざした実証実験「あすけあいプロジェクト」を進めている。

■プロジェクトの概要

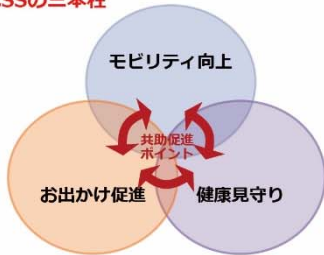
高齢者の外出を促進することで、健康寿命・社会参加寿命を延伸して、住民の生活の質（QOL）や地域の持続可能性を向上させることを目的に、地域の助け合いの力で、「自由な移動」「楽しいお出かけ」「健康な毎日」を実現するための社会システム（Community Support System, CSS）を導入する。

高齢者の「自由な移動」では、地域バス、タクシーの相乗り（タクシム：タブレット端末を活用してタクシーの相乗りを実現）、住民によるマイカー相乗り（あすけあいカー：タブレット端末を活用してマイカーの同乗を実現）、将来的な自動運転も含む小型モビリティなど、多様な交通手段を組み合わせ、移動支援を図ることとしている。

社会システムの導入（コミュニティ・サポート・システム：Community Support System, CSS）



CSSの三本柱



	タクシム (TAXSM: TAXi-Share Management)	あすけあいカー
実施内容	事業主体が タクシー車両と旅客のマッチングを行う	地域住民がボランティアとして 自身のマイカーに高齢者を同乗させる
運 賃	時間距離併用制運賃もしくは時間制運賃の安い方を採用、初乗り・お迎え料金は等分+その他は按分	実際の運送に要した費用【移動距離・車の燃費・油種・地域の高ソリン価格】を算出し、ポイントで支払い
デマンドの生成	利用者はリクエスト(出発地・目的地・時間・人数)をCSSに登録、タクシー事業者を確認後、配車	利用者はリクエストをCSSに登録 提供者はリクエストを確認してオフアを登録

出典：名古屋大学提供資料、豊田市ホームページ

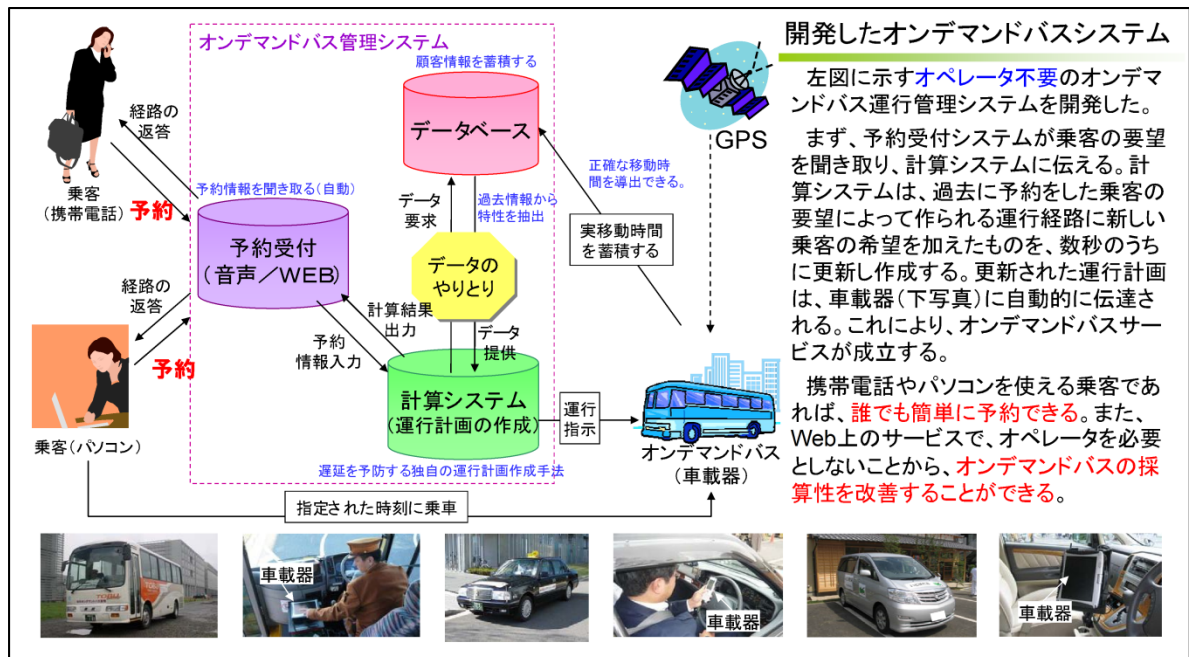
図 4-34 多様なニーズにきめ細かに対応したタクシーサービスの事例 [ウ.の参考例]

概要			
○変化する様々なニーズに応えるために、新たなタクシーサービスが展開されている。			
<p>こども110ばんタクシー</p> 	<p>運転免許返納者割引</p> 	<p>ママサポートタクシー</p> 	<p>認知症サポーター講習会</p> 
<p>車体に「こども110ばん」マグネットを貼り、地域のこども達が犯罪・事件・事故に遭わないように、地域の方と連携して未然に防ぐための協力を行っている。犯人逮捕に結びついた事例もある。</p>	<p>運転免許返納者を対象とした割引制度であり全国14府県にて実施。65歳以上の方で、警察署等で発行される運転経歴証明書を乗車時に提示することで10%の割引を受けることができる。</p>	<p>事前に助産師の講習を受けた乗務員(約4,000名受講済み)が妊産婦の方を送迎するサービス。年間約3万人の登録があり、これまでに実際にタクシー車内での出産も3件発生している。</p>	<p>認知症による徘徊高齢者の早期発見と保護に関する協力協定を県警と締結。ドライバーの多くが認知症サポーター講習会を受講している。平成27年度中に全乗務員が受講予定。</p>

出典：国土交通省「豊かな未来社会に向けた自動車行政の新たな展開に関する小委員会最終報告書」参考資料

図 4-35 東京大学のオンデマンド交通システム「コンビニクル」[エ.の参考例]

コンビニクルは、東京大学で開発されたデマンド対応型の乗合交通システムで、IT技術の活用により予約に応じて即座に運行ルートを手動で作り、到着時間を守りながら乗合を可能にしている。また、運行により蓄積された利用ログデータの分析により運行の見直し改善も可能。県内では、岩倉市のデマンド型乗合タクシーでこのシステムを導入している。



出典：一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議ホームページ

図 4-36 自動走行実証実験の取組 [エ. の参考例]

愛知県では、企業や大学が実施する自動走行の実証実験を支援するとともに、近未来技術実証特区*「自動走行実証プロジェクト」に地域指定されたことを受け、国の規制緩和メニュー作成に向けて、2016年度は、山間地、離島など、県内15か所の自動走行の実証可能なエリアにおいて、大学・企業・市町村と連携して実証実験に取り組んでいる。また、無人タクシーによる高齢者の輸送サービスなどの県民ニーズや社会受容性についても検証する取組を行っている。

なお、2016年8月には、千葉市の豊砂公園敷地内にて、無人運転バスの試験運行が行われたほか、秋田県仙北市、長野県白馬村等でも無人バスの実証実験に取り組む動きが出てきている。



幸田町での自動走行実証実験の様子



春日井市での自動走行実証実験の様子

出典：愛知県ホームページ

図 4-37 多様なニーズに応じてバス車両を柔軟に活用した事例 [オ. の参考例]

概要

愛知県大口町、小牧市／あおい交通(株)

- 地域の多様な移動ニーズに応じて、車両を弾力的に活用し、生産性を高めている。
- 例えば、①従業員送迎用に使っている貸切バスを、朝・夕以外の時間帯に小学校のスクールバスとして活用する、②大学用スクールバスを、比較的空いている朝・夕の時間帯に、乗合バスとして運行し、住民輸送に取り組んでいる。

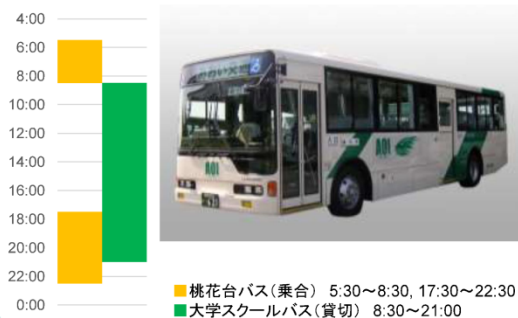
会社送迎用貸切バスをスクールバスとして利用

従業員用の会社送迎用貸切バスは、会社員が退職する朝・夕以外の時間帯は空いていることから、小学校低学年(1, 2, 3年生)の下校時の送迎を行い、小学生の見守りにも活用している。



スクールバスを住民輸送に利用

大学用のスクールバスは、朝夕の時間帯は比較的空いていたことから、スクールバスの運行前後に、乗合バスとして運行している。



出典：国土交通省「豊かな未来社会に向けた自動車行政の新たな展開に関する小委員会最終報告書」参考資料

⑭ 地域で公共交通を支える仕組みの構築

地域公共交通の維持・活性化に向けては、自治体、地域住民及び交通事業者が地域公共交通の事業理念を共有する中で、それぞれの役割を果たすとともに、地域の実情に応じた公共交通ネットワークを維持するための取組を進める。

また、バスやタクシーの担い手不足等が大きな課題となっていることから、その解消に向けた取組を進める。

ア. 地域公共交通会議や法定協議会を通じた関係者間の協議・調整

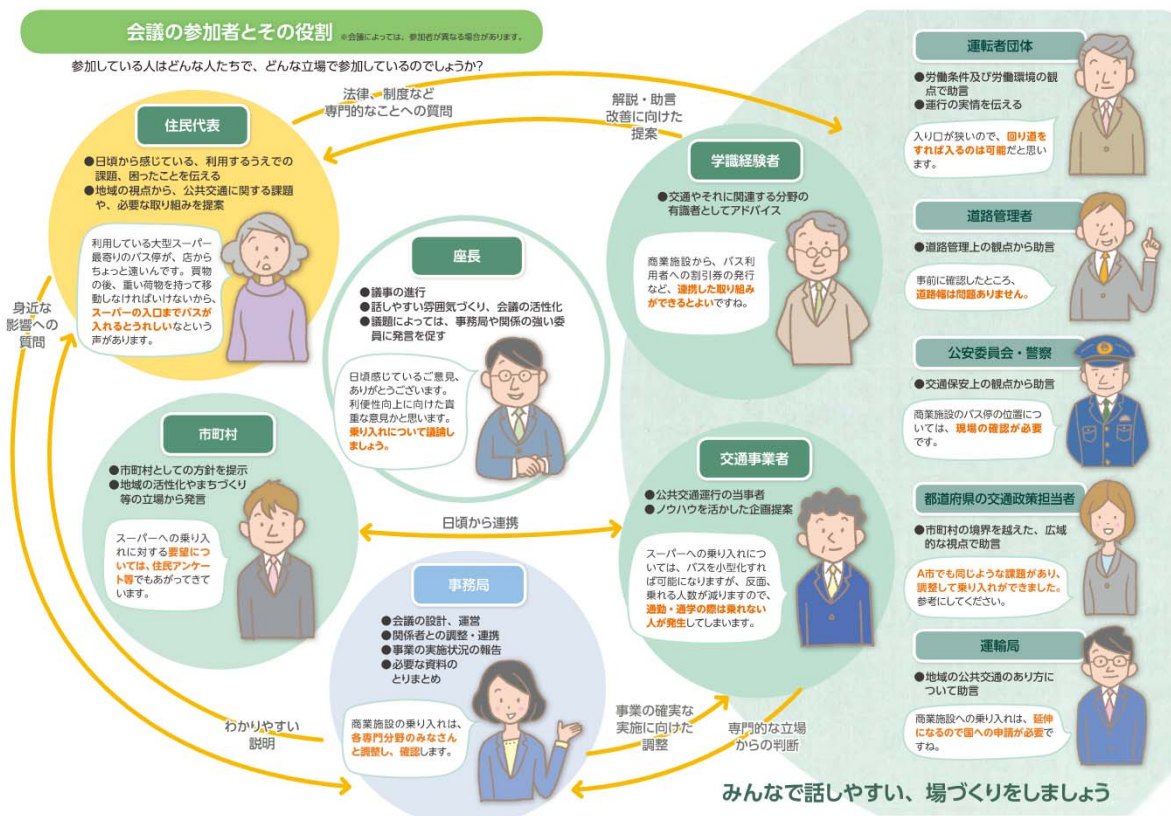
イ. 愛知県バス対策協議会*やバス担当者研究会による広域での関係者間の調整

ウ. 公共交通施策を担う人材の育成(実務担当者向け講習会等の開催)

エ. 地域公共交通の利用促進を図る組織の設置及び活動支援

オ. 運転者不足を解消するための取組の推進

図 4-38 地域公共交通会議の参加者とその役割



出典：中部運輸局「地域公共交通について活発で良い議論ができる会議のために。」

図 4-39 住民主体の利用促進の取組（武豊町）〔エ.の参考例〕

【武豊町コミュニティバス利用促進友の会の事例】

武豊町では、コミュニティバスが継続して運行されるには、「地域に愛され利用が増えなければならない」という問題意識を持った住民の方々が「武豊町コミュニティバス利用促進友の会」を設立し、行政・運行事業者と協力しながら町民自らが柔軟な発想と行動でコミュニティバスの利用促進事業の企画や運営を実施している。住民主体の団体であるため利用者にとって身近な目線で多くの住民を巻き込んだ事業を展開している。



バスベンチづくり
（停留所付近にオリジナルベンチを設置）



コミュニティバスツアー
（観光ガイドボランティアとともに町内を巡るツアー）

出典：武豊町、武豊町コミュニティバス利用促進友の会

図 4-40 運転者不足を解消するための取組〔オ.の参考例〕

■バス運転士に特化した就職博

バス業界は全国的に慢性的な運転士不足であり、中部地区も例外ではなくこの状況を打破するため、中部バス協会が主催するバス運転士に特化した就職博「中部地区バス運転士合同説明会 From どちらなび」が開催された。

中部地方では初となるバス運転士に特化した就職説明会となった。

■女性運転士活躍のためのセミナー

国土交通省中部運輸局では、2016年10月1日に「第11回地域バス交通活性化セミナー：発見!!女性運転士の魅力～あなたの気遣いも生かせる新たな公共交通～」を開催した。

出典：交通エコロジー・モビリティ財団
ホームページ

中部初！

報道関係各位
取材のご案内

バス運転士専門の求人サイト「どちらなび」がプロデュース！

バス運転士に特化した就職博開催！

バス業界の慢性的人材不足にアプローチ！
業界初！複数会社の女性乗務員によるトークセッション実施！

この度、中部バス協会が主催する『中部地区バス運転士合同就職説明会 From どちらなび』を開催しますので、ご案内させていただきます。この就職博は国内唯一のバス運転士専門の求人サイト「バスドライバーnavi(どちらなび)」を運営するリッツMC株式会社(代表取締役:中嶋典恵、東京都港区)が企画運営致します。バス業界は全国的に慢性的なバス運転士不足です。中部地区も例外ではなく、この状況を打破するため、中部バス協会と中部運輸局が中部エリアの主要バス事業者と声をかけ、実現の運びとなりました。この就職博は、「バスの運転士になりたい人」と「バスの運転士を採用したい会社」のマッチングを目的としており、昨年には、首都圏と関西圏で約1000人ものバス運転士志望者とバス会社を引き合わせた実績があります。

■遠方のバス会社を資料コーナーでチェックする来場者(東京会場)

■ブースコーナーの様子(関西会場)

■見学するブースコーナー(関西会場)

■立ち見の特設ステージ(東京会場)

名古屋会場 初開催！

中部地区バス運転士合同就職説明会Fromどちらなび
■日程：10月1日(土) 11:30～17:30
■会場：A P名古屋、名駅
■主催：中部バス協会
■後援：国土交通省 中部運輸局
■企画運営：リッツMC株式会社

参加バス会社

遠州鉄道・岐阜バス・コミュニティタクシー
 しずてつジャストライン・隼バス・帝産観光バス
 豊橋鉄道・豊橋観光バス・なの花交通・名鉄バス
 名鉄観光バス・名阪近鉄バス・三重交通
 JR東海バス・WILLER EXPRESS東海(五十音順、敬称略)

●ブース説明：
養成制度(大型二種免許取得支援制度)や実際の労働管理について等、バス運転士未経験の方や、大型二種免許を持っていない方も安心して就業出来る様、様々な内容を説明します。

●特設ステージ：
新企画！女性乗務員によるトークセッション開催！男性社会のイメージが強いバス業界で、いきいきと活躍する女性乗務員の声をお届けします。複数のバス会社の乗務員によるトークセッションは業界でも初の試み！
その他、大好評の『どちらなび特別講座』や、各バス会社によるステージ会社説明会も開催。

●当日は、国土交通省中部運輸局、各県バス協会 上座の方、主要バス会社社長・役員も多数来場されます。

出典：愛知県バス協会ホームページ

(4) 高齢者や移動困難者も安心して暮らせる人にやさしい交通体系の創出

⑮ 誰もが安心して公共交通を利用できる環境の創出

高齢者や障がい者を始め、誰もが乗り降りしやすく、利用しやすい公共交通に向けた取組を進める。

ア. 鉄道駅におけるエレベータやホームドア*など交通施設におけるバリアフリー化の推進

イ. ユニバーサルデザイン*に基づき設計された車両の導入推進

ウ. 障がい者や外国人など誰にでもわかりやすい情報提供・案内表示(サイン等)の充実

図 4-41 ノンステップバス*の例 [イ.の参考例]



出典：国土交通省ホームページ

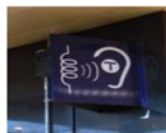
図 4-42 わかりやすい情報提供の例 [ウ.の参考例]

(1) 旅客施設等における視覚・聴覚障害者、外国人等に対応した情報提供・案内の充実に向けた調査研究

検討会を設置し、情報制約者向けにICT等新しい技術も活用した情報提供・案内の充実に向けた調査(実証実験等)を実施。

(情報提供の充実の例)

- バリアフリールートの情報提供の充実(ICT、マップ等)
- ピクトグラム、デジタルサイネージの活用
- 駅係員呼び出しインターホン等による情報提供の充実



【磁気ループシステム】
※音声情報を補聴器に直接送る装置



【デジタルサイネージ】



【駅係員呼び出しインターホンによる筆談対応】

出典：国土交通省ホームページ

⑯ 高齢者の公共交通利用促進

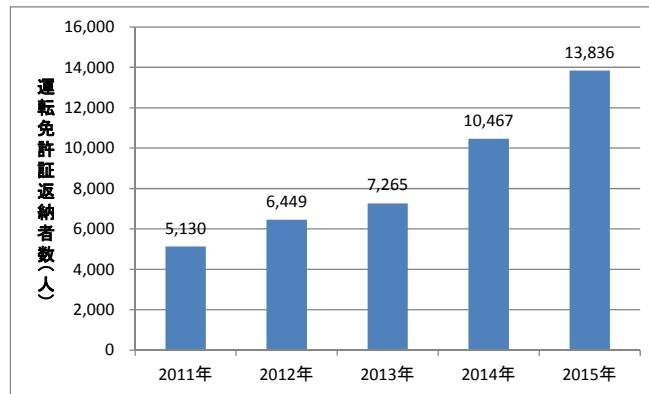
高齢者の外出機会確保の重要性や高齢ドライバーによる事故の危険性などが指摘される中、高齢者の公共交通の利用促進に向け、高齢者に対する優遇措置の検討や運転免許証自主返納者に対する支援事業など、地域特性を踏まえた取組を進める。

ア. 高齢者に対する優遇措置の検討・実施（敬老パス、バス回数券の交付等）

イ. 高齢者の運転免許自主返納支援事業の推進

（返納者への運賃割引、バス・タクシーの乗車券の交付等）

図 4-43 愛知県における高齢者の運転免許証返納者数の推移



出典：愛知県警察

図 4-44 愛知県タクシー協会における取組 [イ.の参考例]

愛知県タクシー協会では、運転免許証を返納した 70 歳以上の高齢者に対して、運転経歴証明書の提示によるタクシー運賃割引（1 割引）の取組を行っている。

※運転経歴証明書

運転免許証を自主返納した日前5年間の自動車等の運転に関する経歴について表示された運転免許証と同一サイズのカード型の証明書



出典：愛知県警察ホームページ